

2026 年度入学試験問題

選 択

(歴史総合、日本史探究、歴史総合、世界史探究、 公共、政治・経済、数学)

(60 分)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. この問題冊子は 43 ページあります。試験中、ページの脱落等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
解答用紙(マークシート)の汚れなどに気づいた場合も、同様に知らせてください。
3. 解答用紙(マークシート)は折り曲げたり、汚したりしないでください。
4. 数学を解答するものは、解答上の注意が裏表紙に記載してあるので、この問題冊子を裏返して必ず読んでください。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
5. 解答は、すべて解答用紙(マークシート、数学とその他の科目は解答用紙が異なります)に記入し、解答用紙(マークシート)の枠外には、なにも書かないでください。
6. 下記の選択科目のうちから 1 科目を選択して解答してください。解答用紙にマークする際にも注意してください。(※数学とその他の科目は解答用紙が異なります)

選択科目	ページ	試験問題
歴史総合、日本史探究	1 ページ～13 ページ	問 1～問 40
歴史総合、世界史探究	14 ページ～26 ページ	問 1～問 35
公共、政治・経済	27 ページ～40 ページ	問 1～問 40
数学	41 ページ～43 ページ	ア～ハ

7. マークは必ず HB の黒鉛筆を使用し、訂正する場合は、完全に消してからマークしてください。
8. 監督者の指示に従って、解答用紙(マークシート)に解答する科目・受験番号をマークするとともに、受験番号および氏名を記入してください。
9. 解答する科目、受験番号、解答が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
10. 筆記用具以外は、使用しないでください。
11. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

歴史総合, 日本史探究

(60 分)

注 意 事 項

1. 試験問題は、問 1 ～問 40 まであります。

解答用紙(マークシート)には、問題番号が 1 ～50、選択肢が①～⑩まで印刷されていますが、解答にあたっては、問 1 ～問 40 までの各設問に指示された選択肢の数の中から選んで解答してください。

2. 解答する科目，受験番号，解答が正しくマークされていない場合は，採点できないことがあります。

問題 I

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

中国では三国時代のあと、(1)が国内を統一した。しかし、4世紀初めに、北方の匈奴をはじめとする五胡の侵入を受け、北朝と南朝に分かれ、南北朝時代を迎えることになる。このため、周辺諸民族に対する中国の支配力は弱まり、東アジアの諸地域は国家形成へと進んだ。

中国東北部から起こった〔 A 〕は、朝鮮半島北部に領土を広げた。朝鮮半島南部では、⁽²⁾馬韓、弁韓、辰韓というそれぞれ小国の連合が形成されていたが、4世紀に馬韓から〔 B 〕が、辰韓から〔 C 〕がおこった。また、かつての弁韓の地には〔 D 〕と呼ばれる小国群があったが、倭(ヤマト政権)は、朝鮮半島南部の鉄資源を確保するため、早くから〔 D 〕と密接な関係をもっていた。なお、〔 A 〕の広開土王碑の碑文によれば、4世紀後半、倭は〔 B 〕や〔 D 〕とともに〔 A 〕と交戦したことが記されている。⁽³⁾

朝鮮半島から乗馬の風習を学び、5世紀になると日本列島の古墳にも馬具が副葬されるようになった。この間、⁽⁴⁾多くの渡来人が海を渡って、多様な技術や文化を日本列島に伝えた。ヤマト政権はこれらの渡来人を技術者集団に組織し、各地に移住させた。また、漢字の使用も始まり、漢字の音を借りて倭の人の名や地名などを書き表すようになった。漢字を用いてヤマト政権の様々な記録や出納・外交文書などの作成に当たったのも、(5)などと呼ばれる渡来人であった。

5世紀から6世紀にかけて、大王を中心としたヤマト政権は、豪族たちの血縁やその他の政治的関係をもとに構成した組織を編成し、その組織単位がヤマト政権の職務を分担した。このような政治制度を(6)という。⁽⁷⁾中央の政治は臣姓・連姓の豪族から大臣・大連が任じられてその中枢を担ったとされ、その下の伴造が、職務に奉仕する伴やそれを支える部と呼ばれる集団を率いて軍事・財政・祭祀・外交や文書行政などの職掌を分担した。渡来人たちも、伴造や伴に編成され、品部の集団がそれを支えた。

5世紀後半から6世紀にかけて、ヤマト政権は東北地方南部から九州におよぶ地方豪族を含み込んだ支配体制を形成していった。『宋書』倭国伝には、倭の五王が中国の南朝に朝貢して倭王と認められたことや、478年に倭王武が宋の順帝に対して上表文を奉ったと記され、記事の内容から、⁽⁸⁾古墳時代中期、大規模な前方後円墳が近畿を中心として展開したこともうかがえる。さらに、⁽⁹⁾「獲加多支鹵大王」という大王名が記された鉄剣が⁽¹⁰⁾稲荷山古墳から、同じ大王名と考えられている銘文が記された鉄刀が⁽¹¹⁾江田船山古墳から出土しており、5世紀後半には大王の権力が、東北から九州におよんでいたことがうかがえる。

6世紀以降、ヤマト政権は地方の有力豪族を国造に任じ、その地方の支配権を保障する一方、勢力下においた地域の要所に直轄領としての(12)を設置し、地方支配を強化していった。しかし、このような大王権力の拡大に対しては、地方豪族の抵抗もあった。と

くに6世紀初めには、筑紫国造が大規模な戦乱をおこし、大王軍は2年がかりでこの乱を制圧した。ヤマト政権はこうした地方豪族の抵抗を排しながら彼らを従属させていった。

この頃、朝鮮半島から渡来した(14)により儒教が本格的に伝えられたほか、医・暦などの学術も伝えられ、支配者層に受け入れられた。また、(15)天皇の時、朝鮮半島より仏教が公伝され、仏像・経論などが伝えられたとされている。

問1 文中の空欄(1)に最も適する国名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 殷 ② 周 ③ 秦 ④ 漢 ⑤ 晋

問2 文中の下線部(2)に関して、空欄〔A〕～〔D〕に入る語句の組合わせとして、最も適切な番号を選び、その番号をマークしなさい。

- | | | | |
|----------|--------|--------|--------|
| ① A. 高句麗 | B. 新羅 | C. 百濟 | D. 加耶 |
| ② A. 新羅 | B. 百濟 | C. 高句麗 | D. 加耶 |
| ③ A. 百濟 | B. 高句麗 | C. 加耶 | D. 新羅 |
| ④ A. 高句麗 | B. 百濟 | C. 新羅 | D. 加耶 |
| ⑤ A. 百濟 | B. 新羅 | C. 加耶 | D. 高句麗 |

問3 文中の下線部(3)に関連して、最も不適切なものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① これは鴨緑江北岸、中国吉林省集安市にある。
- ② これは高句麗の宝蔵王が広開土王の業績を顕彰するために建立したものである。
- ③ これは角柱で、1800余りの文字が刻まれている。
- ④ これは2004年に「古代高句麗王国の首都と古墳群」の一部として世界文化遺産に登録されている。
- ⑤ この碑文は当時の朝鮮半島の情勢や当時の日朝関係を知るための貴重な史料となっている。

問4 文中の下線部(4)に関連して、5～6世紀の渡来人が伝えた技術・文化として、あてはまる事柄の個数を選び、その番号をマークしなさい。

- ア. 養蚕・機織り
- イ. 易学
- ウ. 『論語』
- エ. 『千字文』

- ① 0個 ② 1個 ③ 2個 ④ 3個 ⑤ 4個

問 5 文中の空欄(5)に最も適する語句を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 史 部 ② 鞍作部 ③ 錦織部 ④ 陶作部 ⑤ 韓鍛冶部

問 6 文中の空欄(6)に最も適する語句を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 律令制度 ② 冊封体制 ③ 氏姓制度
④ 摂関政治 ⑤ 皇親政治

問 7 文中の下線部(7)に関連して、最も不適切なものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 「臣」は地名を氏の名としている豪族に与えられた。
② 「臣」が与えられた豪族は、葛城氏・蘇我氏・中臣氏などの有力豪族である。
③ 「連」は職掌を氏の名としている豪族に与えられた。
④ 「連」が与えられた豪族は、物部氏・大伴氏などの有力豪族である。
⑤ 「君」は地方の有力な豪族に与えられ、「直」は地方の豪族に与えられた。

問 8 文中の下線部(8)に関連して、次の史料は『倭王武の上表文』に関する記述の一部である。この史料に関連して述べた文として下の文 X・Y について、その正誤の組み合わせとして、最も適するものを選び、その番号をマークしなさい。

史料

「興死して弟武立つ。自ら使持節都督倭・百濟・新羅・任那・加羅・秦韓・慕韓七国諸軍事安東大將軍倭国王と称す。順帝の昇明二年、使を遣して上表して曰く、『封国は偏遠にして、藩を外に作す。昔より、祖禰躬ら甲冑を擐き、山川を跋涉して寧処に遑あらず。東は毛人を征すること五十五国、西は衆夷を服すること六十六国、渡りて海北を平ぐること九十五国……』と。詔して武を使持節都督倭・新羅・任那・加羅・秦韓・慕韓六国諸軍事安東大將軍倭王に除す。』(『宋書』倭国伝、原漢文)

X この上表文において、父祖の国内統一の状況を述べている。

Y この上表文において、倭王武は高句麗との戦いで宋の支援を要求している。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問 9 文中の下線部(9)に関連して、最も不適切な古墳を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 大仙陵古墳 ② 誉田御廟山古墳
③ 箸墓古墳 ④ 上石津ミサンザイ古墳
⑤ 仲津山古墳

問10 文中の下線部(10)に当てはまる天皇を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 允恭天皇 ② 安康天皇 ③ 雄略天皇
④ 繼體天皇 ⑤ 安閑天皇

問11 文中の下線部(11)の古墳が存在する所在地を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 熊本県玉名郡和水町 ② 埼玉県行田市
③ 千葉県市原市 ④ 和歌山県橋本市
⑤ 群馬県太田市

問12 文中の空欄(12)に最も適する語句を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 田莊 ② 名代 ③ 屯倉 ④ 部曲 ⑤ 位田

問13 文中の下線部(13)に当てはまる反乱を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 磐井の乱 ② 安和の変 ③ 乙巳の変
④ 壬申の乱 ⑤ 恵美押勝の乱

問14 文中の空欄(14)に最も適する人物を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 弓月君 ② 觀 勒 ③ 阿知使主
④ 五經博士 ⑤ 司馬達等

問15 文中の空欄(15)に最も適するものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 宣化 ② 履中 ③ 敏達 ④ 反正 ⑤ 欽明

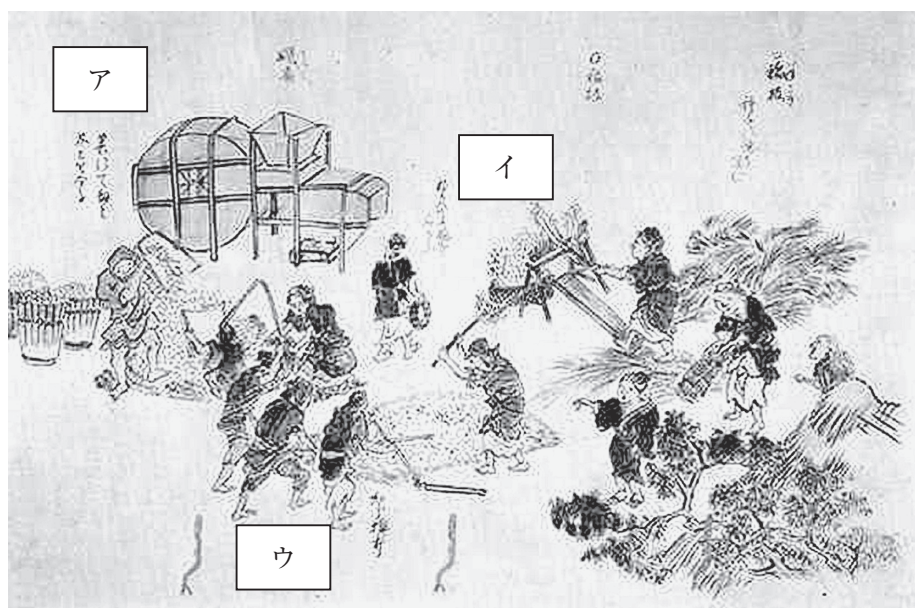
問題Ⅱ

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

2008年に開始された「ふるさと納税」は、2011年の東日本大震災をへて寄付者が急増し、いまでは多くの納税者が活用している寄付金制度である。同制度の対象となるような地方の特産品のなかには古い歴史を持つものが数多くあり、たとえば沖縄県の黒砂糖や山梨県の葡萄、和歌山県の蜜柑、岡山県の備前焼、大阪府の綿織物、群馬県の絹織物など挙げれば枚挙にいとまがないが、これらの特産品は17世紀後半以降の農業・産業の発達のなかで生まれたものである。

地方の特産品が広く生産されるようになった背景には、新田開発や技術開発による生産力の向上、江戸・大坂・京都の三都を中心とした交通網の整備がある。農業に注目してみると、⁽¹⁶⁾図1「近世の稲こきの様子」⁽¹⁷⁾にあるような一連の農具が各地で普及し、さらに干鰯⁽¹⁸⁾や糠、油粕などの金肥が流通するようになり、米作の生産性が数段上昇した。

図1 近世の稲こきの様子



出典：東京大学史料編纂所蔵『老農夜話』より引用。

農書の普及によって知識の面においても農業の発達が促された。1697年に上梓された（19）の『農業全書』は代表的なものであり、作物栽培の基本から応用、高度な技術まで幅広く網羅した本格的な農書である。そのほかにも『広益国産考』や『農具便利論』などが刊行された。

農業に加え、織物業や漁業、製塩業、醸造業など各地方の資源を生かして特産品がつく⁽²⁰⁾

られるようになった。織物業のうち、とりわけ綿織物業は、三河や河内などにおいて原料となる綿が商品作物のひとつとしてさかんに栽培されるようになってからより一層発展を遂げ、先述の金肥の普及も綿の生産性をさらに押し上げた。

商品作物や工芸品など各地の特産品の生産は、陸上・海上・水上における交通網が整備されたことも一要因として指摘できよう。⁽²¹⁾各地から運ばれた特産品は、三都や各城下町を中心に売買されるようになり、その結果、貨幣の流通量が増加するとともに、三貨間の両替と秤量をおもな生業とした両替商の存在が江戸幕府にとっても不可欠なものとなっていった。⁽²²⁾

上記のように、17世紀末から18世紀前半における幕政の安定は経済の成長をもたらし、同時に幕政の安定にとって重要な役割を果たした儒学も進展した。儒学のなかでも朱子学は、大義名分を掲げる思想であり、江戸時代の封建社会の維持に大いに役立った。朱子学に対して中江藤樹や(23)らは明の王陽明が唱えた陽明学を学び、知行合一の立場から現状を批判しようとしたため、幕府から警戒されるようになった。また、朱熹や王陽明の教えによらず、孔子や孟子の古典に立ち返って教えを理解しようとした古学派は、山鹿素行や(24)によって始められた。古学の思想を受け継ぎ、客観的かつ帰納的に真理を追究しようとした荻生徂徠を始祖とする古文辞学派も誕生した。徳川吉宗が主導しておこなった幕政改革はのちに享保の改革⁽²⁵⁾と言われるが、荻生徂徠は吉宗とも深い関係を構築していた。

問16 文中の下線部(16)について、三都のうち大坂には蔵屋敷が置かれていたが、これに関連する説明として間違っているものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 蔵屋敷は、大坂のほかにも江戸や長崎、大津、京都、敦賀などにも置かれた。
- ② 蔵屋敷では、蔵物の取引に従事するものを蔵元と呼んだ。
- ③ 蔵屋敷では、代金などの出納を担当するものを掛屋と呼んだ。
- ④ 蔵物に対して、民間の商人によって取引された商品も総称して蔵物と呼ばれた。

問17 文中の下線部(17)について、三都のうち京都は天皇家や公家が住んでいたこともあり、多くの本山・本寺や本社が点在した。本山・本寺のなかで、唐より日本に戻った最澄が開いた天台宗の本山・本寺ではないものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 南禅寺 ② 青蓮院 ③ 妙法院 ④ 聖護院

問18 文中の下線部(18)について、図1の

ア

イ

ウ

 に入る農具または作業の名称で正しい組み合わせのものを選び、その番号をマークしなさい。

- | | | |
|---------|----------|----------|
| ① ア：千歯扱 | イ：唐 箕 | ウ：からさお打ち |
| ② ア：千歯扱 | イ：からさお打ち | ウ：唐 箕 |
| ③ ア：唐 箕 | イ：千歯扱 | ウ：からさお打ち |
| ④ ア：唐 箕 | イ：からさお打ち | ウ：千歯扱 |

問19 文中の(19)に入る人物名として正しいものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 貝原益軒 ② 宮崎安貞 ③ 大蔵永常 ④ 佐藤信淵

問20 文中の下線部(20)について、当時の特産品の説明で間違っているものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 瀬戸内海では古くから製塩業がさかんであるが、この時期に入浜塩田の技術が発達し、各地で塩の生産がおこなわれるようになった。
- ② 絹織物で有名な京都では西陣織が高機を使って製織されたが、その技術は他の地方にも伝授され、のちに桐生や足利でも絹織物が生産されるようになった。
- ③ 伏見の美濃紙や醤油は現在でも残る伝統産業であり、この時期に特産品として広く流通するようになった。
- ④ 陶磁器では、朝鮮から連れてこられた陶工によって日本へ技術が伝えられ、有田焼が佐賀藩の庇護のもとで17世紀前半につくられるようになった。

問21 文中の下線部(21)について、以下の説明文のうち間違っているものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 陸上交通について、江戸幕府の直轄下に置かれた五街道、つまり中山道・甲州道中・日光道中・東海道・奥州道中は、17世紀半ばから道中奉行によって管理された。
- ② 街道には関所が置かれ、中山道の木曾福島、甲州道中の小仏、東海道の箱根、日光道中と奥州道中の栗橋が有名である。
- ③ 海上交通について、17世紀後半になると江戸の商人・河村瑞賢が東廻り海運と西廻り海運のルートを整備し、取引量が増加するとともに港町が発達した。
- ④ 水上交通では、京都の豪商である荒木宗太郎が鴨川や富士川を整備したり、高瀬川などを開削して水路を開いたり、水上交通での利便性を高めていった。

問22 文中の下線部(22)に関する以下の説明文を読み、(エ)(オ)(カ)(キ)
に入る適切な語句の組み合わせとして正しいものを選び、その番号をマークしなさい。

当時、西日本ではおもに(エ)、東日本ではおもに(オ)が使われ、(エ)と
(オ)と銭貨を合わせて三貨が流通していた。本両替には大坂の(カ)や天王寺
屋、平野屋などがおり、そのうちの(カ)は大坂の新田開発でも活躍した豪商であ
る。17世紀末に鑄造された元禄小判は、徳川(キ)によって金の比率を減らされ
たため物価騰貴を招来してしまったことから、その後新井白石が金の比率を上げて正
徳小判を鑄造した。

- | | | | |
|--------|------|------|------|
| ① エ：金貨 | オ：銀貨 | カ：小野 | キ：綱吉 |
| ② エ：金貨 | オ：銀貨 | カ：鴻池 | キ：吉宗 |
| ③ エ：銀貨 | オ：金貨 | カ：鴻池 | キ：綱吉 |
| ④ エ：銀貨 | オ：金貨 | カ：小野 | キ：吉宗 |

問23 文中の(23)に入る人物名として正しいものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 熊沢蕃山 ② 松永尺五 ③ 木下順庵 ④ 山崎闇斎

問24 文中の(24)に入る人物名として正しいものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 三宅石庵 ② 新井白石 ③ 野中兼山 ④ 伊藤仁斎

問25 文中の下線部(25)に関する記述で間違っているものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 評定所に目安箱を設置して庶民の意見を聞き、その内容を政策に盛り込んだ。
② 参勤交代の負担を緩和する代わりに、上げ米を実施した。
③ 物価を引下げるために株仲間を解散させた。
④ 側近政治をやめて御用取次を新たに設置して將軍の意思を幕政に反映させ、また
有能な人材を登用した。

問題Ⅲ

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

1853年、アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーは4月に琉球王国の那覇に寄港した後、6月には浦賀沖に4隻の軍艦を率いてあらわれ、(26)大統領の国書を提出して日本に開国を要求した。翌1854年1月、今度は7隻の軍艦を率いて再度浦賀に來航し条約締結を強硬に迫ったため、幕府は屈して日米和親条約⁽²⁷⁾を結んだ。その後、幕府はイギリス、ロシア、オランダとも和親条約を結んだが、これら一連の外国との関係の変化は国内政治にも様々な影響⁽²⁸⁾を与えることになる。

日米和親条約にもとづき來日した初代アメリカ総領事はハリスであった。ハリスは通商条約の締結を求めたが、朝廷などでは攘夷の考えが強く勅許は得られなかった。しかし、第2次アヘン戦争の結果、清がイギリス・フランスと天津条約を締結すると、ハリスはイギリスやフランスの脅威を説いて通商条約の調印をせまったため、大老井伊直弼は1858年6月に日米修好通商条約⁽²⁹⁾の調印を断行した。ついで、幕府はオランダ、ロシア、イギリス、フランスとも条約を結ぶことになる。これを、安政の五カ国条約という。これ以後数年の間、日本は政治体制の変革とともに、倒幕に向かう流れのなかで多くの事件⁽³⁰⁾が起こることになる。

1850年代後半におきた幕府の根幹に関わる問題のひとつは將軍継嗣問題である。幕政参画を目指す親藩や薩摩藩主島津斉彬らは一橋家を継いだ(31)を推して現体制維持を目指す南紀派の譜代大名らと対立した。結果として南紀派が勝利したが、井伊直弼の条約調印が一橋派の大名や尊王と攘夷を主張する志士たちの反発をまねくことになる。幕府と朝廷の溝が深まるなかで融和をはかるためにとられた政策が老中(32)による公武合体であった。しかし、公武合体に伴っておこなわれた天皇家と將軍の政略結婚は尊王攘夷論者から批判され、(32)は水戸脱藩士らに襲撃され老中職を退く。

このような事態のなかで朝廷と幕府の双方とつながりの深い薩摩藩の(33)は、1862年に約1000人の藩兵を連れて上洛し朝廷に幕政改革を訴えた。さらに、(33)は孝明天皇の勅使を奉じて江戸にくだり幕府に幕政改革をせまったため、幕府は朝廷の意向に沿うように幕政を改めた。いわゆる、文久の改革である。その後、尊王攘夷運動⁽³⁴⁾は倒幕運動⁽³⁵⁾へとすすんでいく。貿易の妨げになるとして攘夷派に打撃⁽³⁶⁾をあたえる機会をねらっていた列国は、イギリスを中心に4国の連合艦隊を編成して海峡を通過する諸外国船を砲撃した長州藩の砲台を攻撃した。この後、列国はさらに日本国内の騒乱⁽³⁷⁾に介入するようになる。

開国以後の外国との関係の変化は、日本国内における社会経済の状況も一変させた。通商条約にもとづいて、1859年6月からは開港した3つの港で外国商人と日本商人の間で貿易がおこなわれた。当初、最大の貿易港は横浜で、輸出では生糸や茶、蚕卵紙が、輸入では繊維製品や武器、艦船などの軍需品が中心となり輸出超過であった。また、倒幕まで

に日本の経済や社会状況がおおきくかわることで、新たな経済の仕組みが生まれていった。⁽³⁸⁾

黒船来航から約 15 年にわたる政治、経済、外交そして社会の変化の末、1867 年には江戸幕府滅亡の最終局面をむかえる。1867 年、後藤象二郎や坂本龍馬などが(39)を通じて將軍の政権を朝廷に返す大政奉還を建議すると、同年 10 月 14 日、將軍は大政奉還を申し出て朝廷に政権を返上し、そのうえで新たな政治体制のなかで主導権を握ろうとした。しかし大政奉還と同時に、薩摩藩と長州藩は討幕の密勅を得て倒幕派の結束を保ち運動を続けていった。12 月 9 日、(40)や岩倉具視らは朝廷をうごかして王政復古の大号令を発し、天皇中心の新政府樹立を宣言した。

問26 文中の空欄(26)に入る適切な人名を選び、その番号をマークしなさい。

- | | |
|------------|-----------|
| ① ローゼンヴェルト | ② アイゼンハワー |
| ③ フィルモア | ④ リンカーン |

問27 文中の下線部(27)に関して、間違っているものを以下の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① アメリカ船が必要とする燃料や食料などを供給すること
- ② 難破船やその乗組員を救助すること
- ③ 神戸・横浜の 2 港を開いて領事の駐在を認めること
- ④ アメリカに一方的な最恵国待遇を与えること

問28 文中の下線部(28)に関して、間違っているものを以下の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① ペリー来航後、老中首座阿部正弘はそれまでの方針を変えて朝廷への報告はおこなわず、諸大名や幕臣の意見を封じて幕府に権力を集中し、幕府主導で対策を立てようとした。
- ② 幕府において人材を登用するとともに、前水戸藩主徳川斉昭を幕政に参加させた。
- ③ 国防充実のため、江戸湾に台場(砲台)を築き、大船建造の禁を解いた。
- ④ 貿易容認に向けて蘭学に通じる堀田正睦を老中首座にすえた。

問29 文中の下線部29に関して、間違っているものを以下の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① 神奈川・長崎・箱館・新潟・兵庫の開港と江戸・大坂の開市
- ② 通商は自由貿易とするが、開港場に居留地を設けて一般外国人の国内旅行を禁ずること
- ③ アメリカに領事裁判権(治外法権)を認めること
- ④ 日本の関税に関しては日本に税率の決定権があるが、相互で協議をして定めること

問30 文中の下線部30に関して、起こった事件を時代の早い順に並べているものを以下の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① 桜田門外の変—生麦事件—坂下門外の変—池田屋事件
- ② 桜田門外の変—坂下門外の変—生麦事件—池田屋事件
- ③ 池田屋事件—桜田門外の変—坂下門外の変—生麦事件
- ④ 生麦事件—池田屋事件—坂下門外の変—桜田門外の変

問31 文中の空欄(31)に入る適切な人名を選び、その番号をマークしなさい。

- [illegible]

問32 文中の空欄(32)に入る適切な人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 阿部正弘 ② 堀田正睦 ③ 安藤信正 ④ 松平慶永

問33 文中の空欄33に入る適切な人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 島津忠義 ② 島津家久 ③ 島津貴久 ④ 島津久光

問34 文中の下線部34に関して、正しいものを以下の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① 松平慶永を政事総裁職に、徳川慶喜を将軍後見職に、松平容保を京都守護職に任命した。
- ② 松平容保を政事総裁職に、徳川慶喜を将軍後見職に、松平慶永を京都守護職に任命した。
- ③ 松平慶永を政事総裁職に、松平容保を将軍後見職に、徳川慶喜を宮門警備職に任命した。
- ④ 徳川慶喜を政事総裁職に、松平慶永を将軍後見職に、松平容保を宮門警備職に任命した。

問35 文中の下線部(35)に関して、この間の動向として間違っているものを以下の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① 薩摩藩と会津藩は公武合体派の公家と結んだが、朝廷内の実権をうばうことはできなかった。
- ② 1863年8月18日、三条実美ら7人の尊攘派の公家は追放された。
- ③ 長州藩は勢力の回復をねらって藩兵を上京させたが、敗北した。
- ④ 幕府は諸藩を動員して長州追討の軍をおこした。

問36 文中の下線部(36)に関して、この4国に入らない国を以下の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① フランス ② ロシア ③ アメリカ ④ オランダ

問37 文中の下線部(37)に関して、列国のとった行動として正しいものを以下の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① 兵庫沖まで艦隊を送って圧力をかけ、条約の勅許を勝ちとった。
- ② 幕府と交渉して、関税率を大幅に引き上げる改税約書に調印させた。
- ③ フランス公使ロッシュは、天皇を中心とする雄藩連合政権の実現に期待するようになった。
- ④ イギリス公使パークスは、幕府支持の立場をとり、財政的・軍事的援助を続けた。

問38 文中の下線部(38)に関して、幕府滅亡期の経済社会状況として間違っているものを以下の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① 1867年以降は輸入超過となり、国内市場へ安価な外国の綿製品や砂糖などが大量に流入した。
- ② 生糸は貿易商人が輸出用に買い占めたため、品不足となって値上がりした。
- ③ 安価で良質な国内の綿織物や綿糸が輸出されて国内の綿織物生産地は発展した。
- ④ 長州戦争による物価上昇のため民衆の生活は苦しくなり、「世直し」を唱える百姓一揆や打ちこわしが頻発した。

問39 文中の空欄(39)に入る適切な人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 勝海舟 ② 西郷隆盛 ③ 松平慶永 ④ 山内豊重(容堂)

問40 文中の空欄(40)に入る適切な人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 勝海舟 ② 西郷隆盛 ③ 松平慶永 ④ 山内豊重(容堂)